

## 平成29年度 第2回教育研究審議会議事要旨

I. 日 時：平成29年5月11日（木）13時30分～15時13分

II. 場 所：尾道市立大学 E棟1階 120会議室

III. 出席委員：中谷理事長、菅理事、菅理事、藤澤理事、寺山理事（事務局長）、  
邵経済情報学部長、吉原芸術文化学部長、信木日本文学科長、灰谷教務  
委員長、小泉学生委員長、小川キャリア開発委員長、藤川広報委員長、藤  
岩教養教育委員長、稲田地域総合センター長、西村入学者選抜実施委員長、  
中村教職課程運営委員長、塚本教職課程運営委員

陪 席：大下参事、森嶋次長、石井総務課長、齋藤企画広報室長、土岸総務課長補  
佐、崎丸学務課長

### IV. 議事要旨（案）の確認

崎丸学務課長から、平成29年4月13日に開催した第1回教育研究審議会  
議事要旨（案）に沿って説明があり、審議の結果、原案どおり確認された。

### V. 議 案

#### 1. 平成30（2018）年度 推薦入試学生募集要項（案）について

西村入学試験実施委員長から、標記募集要項（案）に沿って説明があり、  
審議の結果、承認された。

#### 2. 教職の再課程認定について

中村教職課程運営委員長及び塚本教職課程運営委員から、資料により本年度  
末に申請を行う再課程認定について提案があった。審議の結果、提案に沿って  
手続きを進める事、また諸課題を統一的に推進するためにプロジェクトチーム  
（責任者：藤澤副学長）を発足することが承認された。

### VI. その他

#### 1. 平成29年度尾道市立大学学長裁量教育研究費について

石井総務課長から、標記資料に沿って説明があり、申請のあった教員へ交付  
決定された旨の報告があった。

なお、語句の追加修正があった。

#### 2. 2017年度入試の動向と今後の対策について

大下参事から、標記資料に沿って説明があり、今後の動向の1つに地元の大学  
への進学が考えられること、また本学が選択される特色を打ち出すことの重  
要性及び広島や岡山西部からの志願者の増加に向けた取り組みが必要である  
旨の報告があった。

3. TOEICの結果について

灰谷教務委員長から、4月8日に1年生を対象に行ったTOEIC IPテストの結果について資料により説明があり、卒業時に530点越えができるよう、今後のサポートが重要である旨の報告があった。

4. 2017年度懇談会（岡山会場・本学会場）案について

藤川広報委員長から標記資料に沿って説明があり、懇談会の持ち方に改善を加えて実施すること、具体的な実施方法や日程について、早急に確定して広報を進めることを確認した。